

八尾東RCからの参加者：

池本繁喜(PP) 森下慶治(PP) 桑田タア子(P)
石川義一(幹事エレクト) 鈴木洋(AG)

2010年6月20日～23日に「国際色あふれる体験」と銘打って開催された、カナダ・モンリオール(仏語圏)におけるRI年次大会に参加しました。私たちは八尾東RCの女性1名、男性4名の小グループでしたが、世界のロータリアンと共に「joie de vivre(生きる喜び)」を体感しました。来年は米国ニューオーリンズで開催されますが、第2660地区は近藤RI理事輩出地区として多数の参加を期待されています。大会参加経験者は、進化するロータリーを、初めての方はロータリーの素晴らしさを是非体験して下さい。

1. 国際大会

①日本人朝食会(6月20日(日)6時30分～8時)

日本のロータリアン約700名が早朝にもかかわらず集う、まるで小さな地区大会のような催しでした。青森県(八戸RC)出身の黒田RI理事の司会により、ジョン・ケニー会長、サブーRIPP、K・R・ラビンドランRI理事(スリランカ)、李東建RIPP、エド・フタ事務総長(ハワイ)、近藤RI理事エレクト(第2660地区)等々、そうそうたる方々のお話があり、あっという間の90分でしたが、内容は豊かで学ぶべきことの多い朝食会でした。当地区の大谷G、松本GE、横山PGをはじめ多くのPG、G、GEの皆様が参加されていました。

②本会議(6月20日(日)18時30分～21時)

私たちは第二セッション(夜の部)に参加しましたが、第一セッションと合わせて約18,000人が参加し、米国、カナダに次いで参加者第三番の日本からは約3,000人が集まりました。大阪大会の四万人参加がいかに偉大だったかを改めて感じました。会場は市内中心部にある「ベルセンター」で、私たちの宿泊ホテルから徒歩10分の便利な場所でした。ロバートS・スコット大会委員長の歓迎挨拶に始まり、国旗入場そしてジョン・ケニーRI会長の基調講演のあと、5人組の歌手グループ「ケルティックサンダー」による余興を楽しみました。多くの分

科会でいろんな議論をする関係上、本会議はエンターテインメント要素が強くなるのはやむを得ないのかな?と感じました。

③友愛の家

社交の場としての「友愛の家」では約170のブースがあり、日本からはお隣の第2650地区(京都、滋賀等)と東北地方の地区との2地区のブースがありました。新しい「Eクラブ」が出展していたことはロータリーの進化を感じさせられました。

2. モンリオール紹介

東西約25km、南北30kmの島で、1642年にセントローレンス川をさかのぼってきたフランス人が「ビルマリー」という町を造りました。以後港湾都市として発展し、フランス語を母語とするフレンチカナディアンが8割をしめる人口300万人の都市です。

3. 大会プラス

モンリオールでは市内観光とセントローレンス川90分クルーズを楽しみ、ナイアガラでは丸一日カナダ、アメリカそして船上の三方から滝を堪能しました。池本会員の娘さん家族が住むバンフでは、カナディアンロッキーの「森と湖と氷河」を満喫しました。ロータリーの世界大会は参加して学び、世界の仲間と友情を深め、そして旅行を楽しむことだと思います。お隣第2640地区の「堺フェニックスRC」のメンバーからは次年度、日本で2人目の女性がバナーが自クラブから出ることを聞かされ驚きました。



